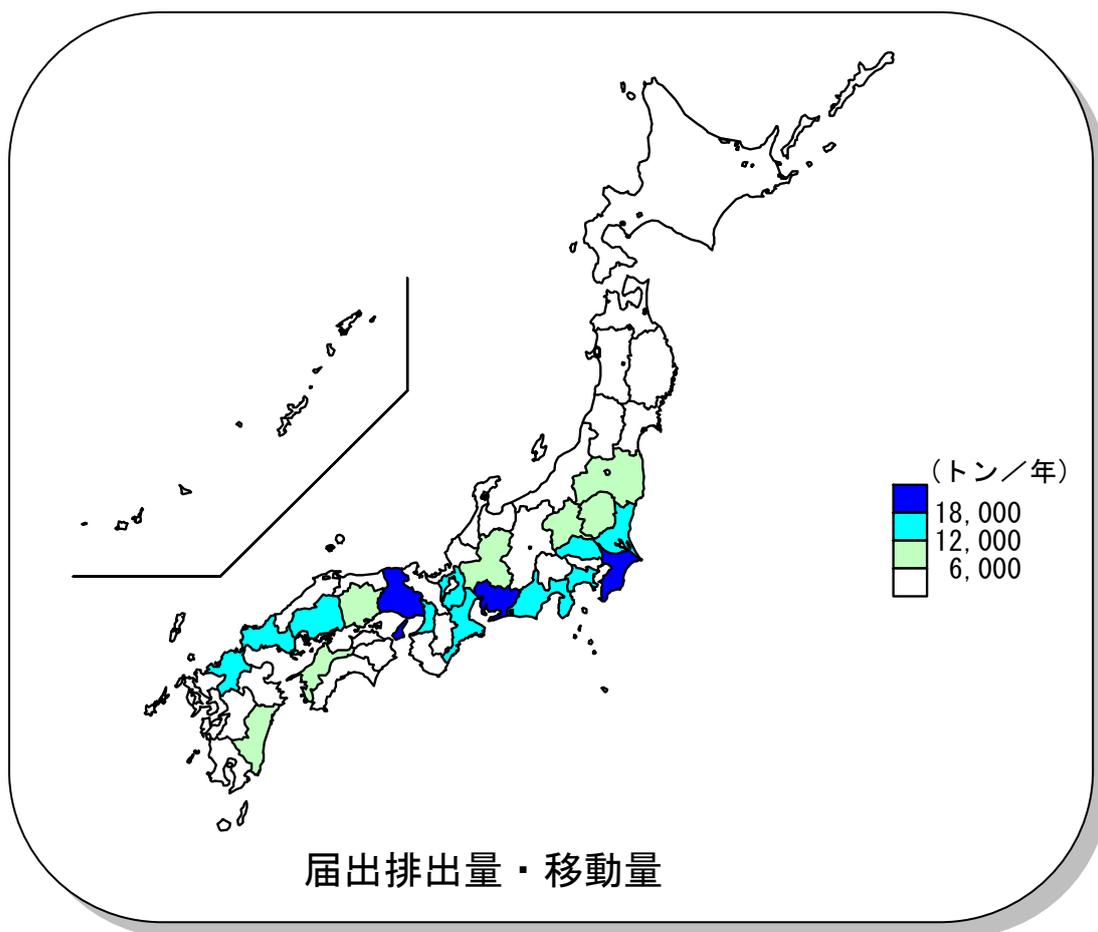


「平成22年度PRTR届出データの過年度との比較」

(速報版)



平成24年3月

化学物質管理センター

nite

独立行政法人
製品評価技術基盤機構 (N I T E)

<内容>

はじめに

第0章 用語・使用したデータ・数値の取り扱いについて

第1章 22年度PRTR届出データの過年度比較

第2章 継続物質の22年度PRTR届出データの過年度比較(医療業除く)

第3章 特集

(1) 政令改正による届出への影響について

(2) 東日本大震災による届出への影響について

第4章 まとめ

はじめに:

独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE: National Institute of Technology and Evaluation)では、毎年、化管法に基づくPRTR届出の最新データと過去のデータを比較した報告書を作成しています。

平成22年度把握(平成23年度届出)のPRTR届出は、改正された政令が適用された初めての届出であり、また東日本大震災が起こった直後の届出であったため、それらの分析に主眼をあて、PRTR届出データと同時期に速報版として公表することとしました。

第1章では、平成22年度と過去の届出を比較し、変化した点について特筆しています。

第2章では、平成22年度と過去の届出を政令改正の影響を除いて比較し、第1章と異なる点について解析をしています。

第3章では、政令改正が届出件数、排出量及び移動量に与えた影響、政令改正で追加された物質の特徴を解析しています。また、東日本大震災の影響についても解析しています。

本報告書(速報版)では、焦点を絞って解析結果を速やかに公開することを目的としたため、従来の報告書よりも内容が限定されています。しかしながら、平成22年度の届出の変化や8年間の推移を知るための参考として、さらに、PRTR届出データの活用の一例として、幅広い関係者の皆様にご一読していただければ幸いです。

平成24年3月

独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター